

「県央基幹病院」立ち上げに向け、 大志を抱く同志の募集を開始。

県央基幹病院 × 医師 × 海外留学

コンセプト

- ・ 海外留学で身につけたスキルを活かして、医療再編・新病院立ち上げを行う県央医療圏をフィールドに地域の課題を解決するほか、地域医療にも貢献
- ・ その後は、経験を活かし世界でも貢献する人材を育成

求める人材

- ・ 県央基幹病院（現燕労災病院）のER救急立ち上げ、組織づくり、教育システム構築に携わる医師
- ・ 地域医療構想と医療再編を経験しながらキャリア形成を目指す臨床研修医

県央基幹病院（2023年度開院予定）

<県央基幹病院の目指すこと(役割・機能)>

○ 地域の救急医療・専門医療の中心的役割

「断らない救急」の実現 ～さまざまな疾患に対応し、重症から軽症まですべての患者を受け入れるER救急体制～

○ 地域医療構想の実現に向けて、医療再編により県央基幹病院を整備

公立・公的5病院(県立燕労災、厚生連三条総合、済生会三条、県立吉田、県立加茂)を再編

○ 隣接医療圏との連携強化、圏域内の病院との連携・役割分担の明確化

背景



専門医療：感染症医療の強化・充実

教育研修：救急・総合診療を中心とした総合的な診療能力を持つ人材の育成
(医学生、臨床研修医、専攻医、キャリアチェンジ医師)

■ 病床数：400床（一般396床、感染症4床）

■ 建設地：新潟県三条市上須頃地内（新幹線 燕三条駅から徒歩7分）

■ 面積：敷地面積42,503㎡ 延床面積：42,742㎡

■ 階数：地上9階

県央基幹病院 人材支援(オンライン海外留学支援制度)

	常勤医師	臨床研修医
対象	燕労災病院に勤務し(勤務予定であり)県央基幹病院の準備に携わる救急・総合診療を担当する常勤医、麻酔科常勤医(概ね45歳まで)	燕労災病院で研修する臨床研修医(燕労災病院が協力型研修病院となっている基幹型臨床研修病院で研修する臨床研修医)
支援内容	次の留学研修資金を2年間(資格取得期間)貸付 <2年間の支援限度額(1年あたり上限は2年総額の半額)> ①オンライン留学研修+現地研修:1,000万円+旅費 例:ハーバードMPH オンライン+現地研修 ②オンライン留学研修:250万円 例:国際認証のMBA学位取得 ※MBA学位取得の場合は別途相談	・オンライン留学研修資金を2年間貸付 <2年間の支援限度額(1年あたり上限は2年総額の半額)> ①オンライン留学研修・MPH取得:1,000万円+旅費 例:ジョーンズホプキンス大学オンラインMPH ②オンライン留学研修:250万円 ※MBA学位取得等の場合は別途相談 ・オンライン留学研修をサポートするメンターの配置 ・オンライン留学研修手続き(申請)支援
サービス	・オンライン留学研修は勤務時間外を活用、受講のため当直など勤務を考慮 ・現地研修期間は職専免	・オンライン留学研修は勤務時間外を活用、受講のため当直など勤務を考慮 ・その他の待遇は他の研修医と同様
返還免除	オンライン留学研修後、燕労災・県央基幹で勤務 ①研修期間+2年以上 ②研修期間+6か月以上	燕労災・県央基幹で常勤として勤務 ①2年+6か月以上(臨床研修中の勤務を含む) ②2年以上(臨床研修中の勤務を含む)
選考	本人からの申請により選考委員会で書類審査及び面接審査	本人からの申請により選考委員会で書類審査及び面接審査

(例:常勤医師) ハーバード公衆衛生学修士 オンライン疫学専攻

カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ・現地(6月 1か月×2回) ・オンライン講義(9月~5月×2回)
学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・統計、疫学、医療ビッグデータの扱い、臨床研究手法 ・医療マネジメント、感染症など領域別疫学、医療経済
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ビッグデータに強い教授陣 (イスラエルのコロナワクチンエビデンスをまとめた Miguel Hernanもハーバード公衆衛生の教授) ・モデルナのワクチンを開発したKizzmekia S. Corbett 博士も、6/14からハーバード公衆衛生の助教授に

